



経営者物語

好きこそものの上手なれ
お客様の声にヒントがある

うとう たけなり
ウトウ株式会社
代表取締役社長

宇藤 毅平さん

【プロフィール】

- 昭和41年 三戸町生まれ
- 平成2年 日本大学経済学部 卒業
- 同年 株式会社 扶桑社 入社
- 平成14年 ウトウ(株) 入社 取締役
- 平成19年 同社 専務取締役
- 平成21年 同社 代表取締役



【会社所在地】
三戸郡三戸町大字同心町字同心平3-2
☎0179-22-2165 FAX:0179-23-6966

田舎に帰る気なんて なかった

家庭用LPガス販売を核に、売電事業やリフォームなど多角的に事業展開するウトウ株式会社。昭和42年の創業です。卸売事業者から充填済みボンベを納入してもらい小売販売するのが主流の当時のガス業界にあって、現会長の宇藤功さんは、開業と同時に自社の液化石油ガス製造所を開設し自社で充填・販売を行うという方法を選択しました。功さんは田子町の農家出身。まったくの異分野から飛び込んだことが、常識にとらわれない経営方針を打ち出す一助となったのかもしれませんが。昭和48年法人化。平成14年には高圧ガス災害防止に貢献したとして経済産業大臣表彰を受けています。

現在、同社代表取締役社長を務める宇藤毅平(たけなり)さんが生まれたのは昭和41年。事業を興し、仕事に邁進する父の背中を見て育ったはずが、30代半ばまでは「田舎に帰るつもりなんてまったくなかった」とか。大学進学とともに始めた東京生活が楽しく、「水を得た魚」だったのです。

実は宇藤さんは黎明期の洋・邦ロックに造詣が深く、日本有数のアナログレコード・コレクター。レコー



10年前に開設した本社ショールーム。充実した品揃えで、お客様をお出迎えしています

ドコレクションは1万枚を数えます。音楽シーンの中心である東京に居たい一心で、大学卒業後は「転職がない」ことを基準に就職活動し、入社したのが雑誌『ESSE』『SPA!』でおなじみの大手出版社・扶桑社。出版物の流通・宣伝、広告営業等を手がけ、地方にも担当書店を抱えて全国を駆け回りました。やがて肩書きが付き、レコード関連書籍も出版。充実した日々でしたが、父に頭を下げられたのを機に、ついに帰郷を決意します。35歳のことでした。

灯油販売依存から脱却 総合サービス企業へ

「性格上、中途半端な関わり方ではない。どうせ田舎に帰って家業を継ぐなら、しのごの言わずに仕事を“好き”になってやろうと割り切りました。会社が抱える課題の解決を追求していこう」と宇藤さん。

入社以来、市場の動向に左右されやすい燃料販売に頼る売上構造を脱却し、エネルギーを軸としたサービス提案の比重を高めてきました。



暮らしに関する様々な情報雑誌の無料貸出しサービス。元出版社営業マンならではのアイデア!

地球環境に配慮し燃料コストも抑える「エコリフォーム」や、環境負荷の低いガス器具のユーザーを対象とした格安ガス料金システムなどがその例。昨年は田子町に太陽光発電所を開設し、売電事業にも乗り出しました。また、10年前に開設した本社ショールームもサービス向上の一環です。床暖房を体感できるほか、ビルトインコンロやバスルーム設備など充実した品揃えで、展示品はすべて注文することができます。新築前の住宅設備相談も無料で受け付け、好評です。

「皆さん自分で建てた家への不満はまず口に出しません。でもよくよく話すと『住んでみないと分からないことってあるわよね…』と本音が出る。こういう声に少しでも応えようと始めたのが、新築前住宅設備相談です。暮らしの困りごとや『こうしたい』という希望をくみ取る。これこそが“ガスを中心とした御用聞”という我々の仕事。お客様の声に込められた多くのビジネスヒントをいかに引き出すかが肝要です。

すべての仕事が クリエイティブ

業務はお客様からいただく声からの“気づき”で成り立つ。気づきを得るには、スタッフの意識を根本から変えていかなければ——。そんな思いから、宇藤さんは掃除をはじめとした各種研修を実施。また社員皆で協力しあい業務シェアをすることで「時間のコスト削減」をし、業務の効率化を図る様、指導しています。

「仕事を義務的にこなしていても進歩はない。1人1人が進歩して利益をもたらさなければ会社は成立

しないし、皆さんの生活を安定させることもできない。このぐらいの売上がないと私の思う理想の給料が出せません。だからなんとか頑張ってくださいと。受身でない創造的な仕事をみんなできていきたいと思います。

“創造的”というデザイナーやアーティストなどをイメージしますが、宇藤さんの考える“クリエイティブ”は違います。

「創造的な仕事をしないとお客様は喜んでくれません。逆に言えば、お客様に喜んでもらうために考えて実行するプロセスは全部創造的なんです。どんな仕事でも“好き”になること。そのためには、とりあえず一生懸命やってみる。やってみたら楽しいこといっぱいあるんですよ。すべての仕事が本当は楽しいし、クリエイティブなんです。私は「仕事のミスマッチ」は存在しないと思っています。

平成25年からNPO法人三戸町観光協会副会長を務め地域活性化にも努めています。座右の銘は「好きこそものの上手なれ」。ワクワクする気持ちをパワーに変えて前進する宇藤さんの、これからの活躍に注目です。



田子町に設置した太陽光発電所。ECOエネルギー事業にも力を入れています。